

令和3年度品川区シルバー人材センター事業報告

公益社団法人
品川区シルバー人材センター
会長 岩澤政善

1. 事業実施状況

概 況

品川区シルバー人材センターは、昭和 52 年 4 月に高齢者事業団として設立され、さらに平成 23 年度には公益社団法人として新たにスタートを切り、今日まで 44 年の長きにわたり、高齢者の多様なニーズに応える組織のひとつとして、就業の機会を提供することを通じて、その活動を援助し高齢者の社会参加と福祉の増進を図ってきた。

さて、センターの事業運営に影響を与える我が国の経済状況を見ると、令和元年度からの新型コロナウイルスの感染拡大により、国から緊急事態宣言が何度も出され、旅行業、飲食業界を始め様々な業界に影響を与え、経済活動は大きく停滞し雇用・所得環境はリーマンショックを超える厳しい状況に置かれている。

このような状況のなか、令和 3 年度は、引き続き「シルバー世代の活躍と地域貢献を目指して」の理念の下に重点事業となる各事業に積極的に取り組むべきところ、感染拡大に伴う度重なる緊急事態宣言の延長により感染リスク防止対策も足かせとなって活動が思うに任せずコロナ以前のような成果が上げられなかった。

その結果、会員数では令和 3 年度末現在で前年度より 89 名、3.8%減の 2,226 名と大幅減となった。これは、入会面では会員のご協力による入会強化事業もコロナ禍で人と会うこと自体が避けられる状況のため実績が上がらず、また利用人数の制限の影響から出張入会説明会や入会説明会も思うように集客ができないなどで十分な入会者が確保できず、また高齢化と新型コロナウイルス感染への不安による退会者増が例年を上回ったこともあり、結果として会員数の大幅減となったというのが偽らざる現状である。

一方で、シルバー人材センターは雇用環境の悪化をうけて高齢者へ就業先の提供という本来の役割を改めて問われる状況にある。したがって、引き続き地域に積極的に出かけ、入会宣伝活動も充実させるなど広報活動を強化して入会強化の取組みを積極的に進めることが何より重要であると考えます。

事業実績については、シルバー派遣も含めた受託件数が 14,099 件と昨年度から 18 件の減となるものの、契約金額は、11 億 4 千 6 百万円と昨年度より約 2,950 万円の増となったが、これは令和元年度実績には及ぶべくもない。これは、公共部門についての施設管理の時間短縮による契約金額の減少、民間部分での飲食関係の就業環境の改善が進まないことやテレワークの延長による就業先の確保が難しいなど契約金額の減少が影響したものと思われる。

最後に、センターの大きな課題とされてきた事故防止については、昨年度と同じ発生件数に抑えることができた。これは安全管理委員会の活動が十分行えない中でも、会員の皆様が真摯に取り組まれたご協力の成果と考えている。しかしながら、安全就業については、会員の安心安全を図る観点から改めて事故ゼロを目指し、これからも取組みを継続していくことが重要である。

以下、事業計画に沿った事業結果について報告する。

I. 事業目標・事業実績について

区分	当初事業目標	事業実績			
		実数	目標との比較	前年度比較	
会員数	2,500名	2,226名 (男性1,219名、女性1,007名)	△274名 (11.0%減)	△89名 (3.8%減)	
就業実人員 (請負)	年間 2,000名	年間 1,818名	△182名 (9.1%減)	△31名 (1.7%減)	
就業実人員 (派遣)		23名		△13名 (36.1%減)	
就業延日人員 (請負)	年間 295千日人	254,131日人	△40,869日人 (13.9%減)	2,975日人 (1.2%増)	
就業延日人員 (派遣)		2,087日人		△713日人 (25.5%減)	
契約金額 (請負)	年間 120,000万円	1,135,431,292円		△110,568,708円 (8.8%減)	
		内	公共 469,160,492円		32,656,357円 (3.0%増)
		訳	民間 666,270,800円		△2,966,920円 (0.4%減)
契約金額 (派遣)	年間 2,000万円	11,258,287円	△8,741,713円 (43.7%減)	△3,157,974円 (21.9%減)	
受託件数 (請負)	年間 16,000件	13,934件	△2,066件 (12.9%減)	△36件 (0.3%減)	
受託件数 (派遣)		165件		18件 (12.2%増)	

以下★マークが付いている事業については、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出により事業を中止した。

II. 公益目的事業について

事業1 就業機会の確保・拡大

(1) 区の施策との連携・協力

今年度も、昨年度から引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響を受けて、就業継続に苦勞の絶えない一年となった。一年を通じて緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用され区内小中学校の施設開放管理、シルバーセンターや地域センターの受付管理、目的外施設管理業務等は、一時的な閉館や開館時間の短縮など就業時間が削減されたことで、シルバー人材センターは少なからず影響を受けた。

一方、受動喫煙防止対策ステッカー掲示確認業務委託や衆議院議員選挙・東京都議会議員選挙の公報配布委託・新型コロナウイルス感染症対応特別助成チラシ・新型コロナウイルスワクチン個別接種会場一覧配布委託など新型コロナウイルス対策関連の仕事が一部増加した。他にも、荏原第1地域センターが移転したあとに、新規に開設した図書取次施設の運営委託を受託するなどの新規事業が得られ

公共の事業実績は、前年度を上回る数字となった。

しかしながら、コロナ禍が完全に収束するに至らず、コロナウイルス感染拡大防止対策についても一時的な単発契約であり、さらに安定的な受注獲得のため区と連携協力しながら事業運営に努めていく。

(2) 就業機会の確保・拡大事業

民間の仕事としての請負・委託事業については、毎年継続中の事業が減少はするものの、年間を通じて実施した総数は 13,265 件の受託件数であった。そのうち新規の契約は 527 件で、多くは清掃・植木だが、他に、保育園向けの教材梱包業務などもあった。

① 技能系就業の技術の向上・リーダー育成

技能系就業においては、継続して事業を行うために数名新規就業者を得た。新型コロナウイルス感染拡大防止に気を付けながら、OJT を通じて技術の向上に努めた。しかし一部定着するまでには至らなかった職種もあるため、引き続き女性会員の活躍の場の確保も含め取組みを強化していく。

② ポスティングの配布体制

ポスティングについては、配布期間の短縮及び就業会員の負担軽減のため、配布部数の多い地域を分割するなどし、増加しているタワーマンションにも対応できるよう体制の改善に努めた。今後も品川区の人口増加に対応するべく、さらにきめ細やかな配布体制を実現し、区民サービスの向上を目指す。

③ 就業確保・拡大

就業確保・拡大のため就業開拓専門員による、区内の中小企業事業者・共働き世帯・高齢者の一人暮らし世帯等を対象とする就業開拓を行った。仕事の担い手となる新たな会員確保のため、入会説明会、出張入会説明会を行った。また、既存会員の就業希望などを再調査し、速やかに仕事と会員をマッチングさせることに努めた。

(3) 地域・家庭からのニーズの充実

① 地域コンビニサービス事業

地域コンビニサービス事業については、高齢者世帯や単身世帯からの依頼がますます増加していくことが見込まれている。そうした需要に応えるために従事会員の育成・会員増強に努め今後も柔軟に対応していく。

地域コンビニサービス事業

事業項目	実績	事業項目	実績
包丁研ぎ・まな板削り	328 件	室内外の片付け・整理・清掃	102 件
粗大ごみの搬出・解体	91 件	病院・買物の付添代行	75 件
家具移動・その他	97 件		

地域コンビニサービス計 693 件

家事援助

事業項目	実績	事業項目	実績
家庭内の掃除	52 件	洗濯・掃除	16 件
食事作り	12 件		

家事援助計 80 件

育児支援

事業項目	実績	事業項目	実績
送迎	8 件	見守り	1 件

育児支援計 9 件

② 学習教室事業

区の補助を受けて、低廉な授業料で子ども向けの学習教室事業「おさらい塾」を実施した。令和 3 年度は小学 3～6 年生を対象として英会話クラスも新設し各学年週 1 回の授業を行い、子どもの基礎学力の向上に努めた。

小学 3・5 年複式 1 クラス 小学 4・6 年 1 クラス

英会話初級 2～6 年生 1 クラス 生徒総数 12 名

③ いきいきプラザ事業の充実

荏原いきいきプラザでは、福祉的就業の場として封入作業や検品作業など内職作業を積極的に受注した。結果として単発の仕事よりも毎月定期的に実施する作業の比率が増えた。また、令和 3 年度は新型コロナウイルスに関連した配布業務の封入作業部分を東大井支所と協力し行った。

実績 39 件

(4) 適正就業への対応

適正就業となるよう担当職員による現場巡回や就業会員への聞き取り調査を行い、就業手順書の修正を随時行うことで適正就業の確保に努めた。

(5) シルバー派遣事業の展開

シルバー派遣事業導入後、事業の中心は保育補助業務であったが、今年度も新型コロナウイルスの影響による休園等で保育補助業務実績は停滞し、取引先の園が契約終了になるなど実績は伸び悩んだ。そんな中でも派遣コーディネーターと連携し他の職種の開拓に努めるとともに、都の補助金を活用し過去にセンター利用歴のある事業所に事業 PRDM を発送、駅ポスター掲出、PR チラシの新聞折込・配布など実施し、保育補助業務 3 件・事務補助 1 件・調理補助 1 件・工場の生産ライン補助 1 件を新規開拓した。

今年度から派遣担当職員を 3 名増員し実施体制を整備・強化するとともに、今後の事業拡大を見据えて、衛生委員会開催時に必要な資格者確保のため職員 1 名に衛生管理者資格を取得させた。

(6) 地区委員会・ボランティア活動の充実

地区委員会は、会員相互のコミュニケーションの円滑化や「共働・共助」の理念に基づき会員の要望や課題の解決に向けて活動を展開した。

① 定期的な地区委員会の開催

新型コロナウイルスの影響により定期的な開催は行えなかったが、一部の地区では地区委員会を開催しセンターの直近の話題、課題について意見交換を行った。また、会報シルバーしながわの配付を実施した。

★② 地区全体会の開催

地区全体会は夏期及び新年会は中止

地区活動費から記念品（のりの佃煮）の配付を行い、地区活動の交流の一端を担った。

③ 地区委員長連絡会の開催

毎月の新入会員研修会に合わせ地区委員長連絡会を開催することで、各地区、事務局との情報交換を図るとともに、新入会員に対して地区委員長紹介の場を提供した。

★④ ボランティア活動

中止

事業2 普及啓発事業

(1) 会員の入会強化

① 会員募集の強化

会員の方へ友人・知人紹介カードを配付し、多数入会者を紹介していただいた地区には入会勧奨への功労を評価し表彰することとした。

10地区 42名入会

会員募集チラシは、区民に新鮮かつ好印象を与えるよう必要な修正を加え、新聞折込やポスティングと様々な実施方法で配布を行った。

また、シルバー派遣事業の展開に伴い派遣登録会員に特化した募集チラシの配布を行うことで会員増強を図った。

ホームページには新しい情報を迅速に載せることで、会員やお客様へのスピーディーな情報提供を心掛けた。

★② シルバー人材センター体験のつどい

中止

③ 関係機関でのPR活動

区の関連施設での事業案内パンフレットや会員募集等のチラシの設置をお願いし、利用者の方に広くセンターを知ってもらうためのPRを行った。

④ 現会員数の維持策

未就業会員へお客様発注内容一覧表を発送することで就業意欲の喚起を図り、就業相談等への積極的な参加を促した。また、新規入会会員で未就業の方へセンター通信とお客様発注内容一覧表を送付し就業意欲の喚起を行った。

⑤ 女性会員募集の強化

高齢者世帯や独居高齢者・子育て世帯等、家庭からの家事のお手伝いや児童送迎・見守り、保育補助などの受注増に安定的に対応するため、年数回女性が働きやすい職種のイラストを多用した新聞折込チラシを作成配布し会員募集強化に努めた。

(2) 積極的な広報活動の展開

① 事業 PR チラシ配布、新聞折込チラシ、区内主要駅へのポスター掲示

新入会員の会員募集及び事業 PR チラシ配布	33,250 枚
事業 PR チラシ配布	42,300 枚
会員募集チラシ配布	560,000 枚
事業 PR チラシ新聞折込 1 回	45,000 部
会員募集チラシ新聞折込 7 回	371,500 部
区内主要駅頭へのポスター掲示	9 駅

② 区広報等による周知活動

区の広報しながわ年 7 回実施、区の統合ポスター	7 回実施
しながわ産業ニュースへの広告掲載	5 回実施
しながわガイドへの広告掲載	1 回実施

(3) 定期的な機関紙等の発行

① シルバーしながわ

広報担当理事と職員で構成される広報委員会が各発行時期に合わせて年 12 回編集会議を開催し、安全就業などセンターを取り巻く課題や身近な話題、地区委員会活動の取組みなどを取り上げた。また今年度も新型コロナウイルスに関する情報のほか、令和 5 年 10 月からのインボイス制度に関する情報提供を掲載した。表紙には品川区内の季節の風景などを掲載し、会員の趣味や健康体操・簡単料理・会員の働く現場紹介など親しみのある紙面づくりを心掛けた。

年間発行回数 4 回 (4 月・7 月・10 月・1 月)

② センター通信

会員向けの月刊誌として直近の情報や注意喚起を会員に知らせるとともに、安全就業については欠かさず掲載し重要性を訴えた。そのほか、パソコン教室、ハウスクリーニング等の講習会の案内を行い、会員の日頃の悩み解決や技術力の向上を図った。また、新型コロナウイルス感染対策の方法やワクチン接種に関する案内を行った。配付方法としては、就業中の会員には配分金明細書に同封するものとし、未就業会員に向けては各事務所に配置することで対応した。

毎月発行 年間 12 回

事業3 研修・講習事業

(1) 新入会員研修

センターの行っている事業の基本的理解と就業の際の注意点、接遇の大切さなどの研修を実施した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止により会場確保が困難なため4月は中止となり、また衆議院議員選挙のため会場が確保できず10月も中止した。コロナでの収容人数制限のため受講機会の遅れが発生している。

年間実施回数…10回 令和3年度受講会員数 129名

毎月の受講状況

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受講者	中止	11	10	14	10	9	中止	14	16	15	10	20

研修プログラム 「接遇」 講師 (株)パトス
地区委員長との顔合わせ
つま先立ち体操
センターの課題及び挨拶 会長
センター事業の説明 事務局長、事務局次長
就業の相談、斡旋 各担当者

(2) 職群ごとの研修会の開催

会員の技能向上と資質向上を目指して職群ごとに基礎研修を実施し、接遇や安全就業などの研修を随時行う予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの研修会が中止となった。

出会いの湯業務 2月14・18・21・22・25日 } 46名参加
3月1日

(3) 外部機関を活用しての研修

《東京しごと財団の就業支援講習会》

会員の技術力向上を図るため、東京しごと財団が実施する「就業支援講習会」に毎年参加していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。

《第4ブロック共同研修》

事故未然防止講習 3名参加

救急救命講習 (AED) 2名参加

事業4 調査研究事業

第4ブロック内のセンターを中心に派遣事業やセンターの事業状況等の情報を共有し意見交換等を行った。特に派遣事業においては、引き続き都内のセンターで先進的に実施している事例を参考に調査していく。

また、令和3年度から実施予定であった第5次中期計画の策定については、新型コロナウイルス感染拡大の影響および令和5年10月からのインボイス制度により事業計画は見通しが立たず、今後の状況を見ながら着手していく。

事業5 相談事業の実施

(1) 出張入会説明会事業及び入会説明会の開催

会員数の減少している地区や入会率の低い地区等に出張しセンターのPRや入会の相談・説明を行う出張入会説明会を開催した。また、常時入会手続きは行っているところだが、さらに入会の機会が増えるよう本部にて入会説明会を開催した。会場が確保できず、予定していた4月・10月の入会説明会は中止したが、4月は募集をかけていたので参加希望者には後日個別に説明対応を行った。

出張入会説明会

開催日	開催場所	参加人数	入会者
5/28 (金)	八潮地域センター	16名	6名
7/20 (火)	大崎第二地域センター	6名	2名
9/29 (水)	荏原文化センター	5名	2名
11/29 (月)	八潮地域センター	7名	1名
1/20 (木)	中小企業センター	18名	12名
3/19 (土)	荏原第四地域センター	4名	3名

入会説明会

開催日	開催場所	参加人数	入会者
4/30 (金)	中止 (個別に説明対応)	3名	1名
6/24 (木)	本部集会室	2名	1名
8/26 (木)	本部集会室	2名	0名
10/28 (木)	中止		
12/23 (木)	本部集会室	3名	0名
2/24 (木)	本部集会室	8名	3名

(2) 理事による就業相談

就業・未就業を問わず会員から広く就業上の相談や仕事上での悩みを理事が聞き取り、今後の仕事の改善や会員の生きがいづくりにつながるようアドバイスを行った。総務部会理事により主に未就業会員を対象に「お客様発注内容一覧表」などを活用し、本部及び荏原支部で就業相談を実施した。

毎月第2木曜日 午後1時から午後4時まで
相談会員 23名（男性14名、女性9名）。その他、資料の持ち帰りに多くの
会員が来所した。

(3) 不適格就業会員への措置

不適格就業会員の措置要綱を制定しているが、適用となる事例についてはなし。

事業6 安全就業対策の推進

センターにおける安全就業対策は法人組織の維持のためにも重大な課題であり、平成28年度より安全管理委員会を中心に多様な取り組みを行ってきた。また、平成30年度からは、安全パトロールの他に事故再発防止講習会を実施してきた。その結果、令和元年度・2年度と2年続けて、10件の傷害事故発生に抑えることができた。その取り組みが評価され、東京しごと財団から「安全就業優良シルバー人材センター」として、令和2年度・3年度の2年連続での受賞につながった。

事故概要については資料1のとおりだが、転倒事故が7件、動作の反動が2件、転落が1件の合計10件となっている。このように積極的な取り組みの成果が表れてきているものの、全国的には横断歩道を歩行中に高齢者が事故に巻き込まれるケースなどが多くなっており、今後とも高齢者自らが再三再四の注意を繰り返す必要がある。引き続き安全就業の取り組みを継続していくことが重要である。

(1) 安全就業強化の取り組み

- ① 職群班の技能研修や打ち合わせ会を安全集会と兼ねたものと位置付け、安全管理委員も参加予定だった職群班会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くが中止となった。このため、シルバーしながわやセンター通信等を活用し安全就業強化に取り組んだ。
- ★② 地区全体会（年2回×10地区）での危険予知等周知活動については、中止となった。
- ③ KY（危険予知）運動については、シルバーしながわやセンター通信を通じて、会員への周知を図るとともに実践への働きかけを行い、それぞれの就業現場にふさわしい方法で取り組むように勧奨した。
- ★④ 自転車安全運転講習会は中止となったが、結果的には自転車事故は0件であった。

(2) 安全就業基準の徹底

★① 植木班、除草班を中心とした安全講習会は中止とした。

植木班では、就業前からのヘルメットの着用徹底を図るとともにヘルメット貸与時には安全就業のシールを貼るなどの注意喚起を行った。また、除草班にもヘルメットを貸与し、植木班と一緒に作業する場合などには枝の落下に備え着用を義務づけた。

② 高所作業（1.5m以上）時に使用する脚立や三脚等の安全就業基準の徹底を図るため、造園業者による安全講習を含む悉皆研修を毎年行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

しかし、安全パトロールにて脚立や三脚等が正しく使用されているかの確認と指導を行った。

③ 転倒予防に役立つようにと会議前等を実施している「つま先立ち体操」がより多くの会員に実践されるよう、会議前・安全パトロール点検時に実施し普及に努めた。

(3) 安全管理委員の活動強化

① 安全管理委員会の開催

安全管理委員会を年 4 回開催し、「安全対策基本計画」及び「安全対策実施計画」を作成・推進し事故ゼロを目指した。

定期開催 年 4 回（4 月・7 月・10 月・3 月）

★※地区委員長との合同開催は中止

② 安全パトロールの実施

5 月から 3 月までの各月において植木現場を中心に年間 15 回の安全パトロールを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からパトロール員の人数を減らして年間 6 回実施し、事故防止を呼び掛けた。

12 月には東京しごと財団から安全パトロール員が来所、植木現場 1 件と施設管理 1 件の巡回点検を指導員・安全管理委員長他 1 名で実施した。

③ 安全就業強化月間の取組み

7 月・11 月・2 月と 3 回実施した。各安全就業強化月間の共通の取組みとして事故防止の注意喚起のチラシ配付、シルバーしながわでの安全就業に関する特集記事、センター通信等での就業途上の転倒事故・自転車事故防止の呼び掛けとつま先立ち体操の奨励等を行った。また、就業報告書を提出の際に事故への注意喚起をする一人一声掛け運動を実施した。その他各事務所で安全就業の垂れ幕を掲出し注意喚起を図った。また、安全強化月間においては安全パトロールを 2 回予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から 11 月のみの実施に留まった。

なお、三密を避けるため地区委員長の参加依頼は行わなかった。

以下、月ごとに行った取組み

《7月》

熱中症に対する注意喚起チラシを配分金明細書に同封

各事務所で「転倒防止」・「熱中症対策」の注意喚起チラシと熱中症対策「塩飴」を配付

各事務所を避暑シェルターとして麦茶を提供

《11月》

各事務所で風邪予防「のど飴」を配付

就業経路途中の転倒事故・自転車事故防止チラシを配付

安全標語の募集

安全グッズを「感染症予防のマスク5枚入り」に決定し12月より各事務所にて配付

(令和4年3月末まで配付)

《2月》

各事務所で転倒防止や路面凍結の注意喚起チラシと風邪予防の「のど飴」を配付

④ 会員への安全就業の周知

配分金明細書に適宜、熱中症予防・転倒防止・自転車事故防止等安全に関するチラシを同封し注意喚起を行うとともに窓口でも配付時に呼び掛けを行った。(熱中症予防チラシ・転倒予防チラシ・雪に関する注意チラシ等)

⑤ 事故再発防止講習会

傷害事故に遭われた方及び賠償事故を起こした方を対象に参加を義務づけた事故再発防止講習会を随時実施した。講習会は傷害事故に遭われた会員が就業に復帰する前等に事務局長・担当者・安全推進員などを構成員として開催し、併せて3回合計8名の会員が受講した。

⑥ 過去の事件事例集の活用

事故防止対策の強化を図るため、「傷害事件事例集及び事故防止対策集」を新入会員研修会において配付し事故防止の啓発活動に活用した。

(4) シルバー保険の加入、自転車総合保険の斡旋

① シルバー保険加入 全会員

② 自転車保険の加入の奨励

しごと財団や東京都で推奨しているサイクル安心保険や品川区の区民交通傷害保険の加入促進を行った。

(5) 植木班・除草班の安全就業への独自の取組み

① 安全具の適正使用

植木現場に入る際は必ずヘルメットを着用し、安全帯も必ず用意し必要に

応じ着用することとした。安全パトロールで確認したが違反は皆無であった。

★② 職群会議及び安全講習会の実施

3月に悉皆研修として予定していた安全講習会は中止としたが、他区の事故事例や安全就業の資料を郵送し、各自で安全に対する意識を高めるよう促した。

③ 体調管理

原則週2日は必ず休み、繁忙期でも週1日は必ず休みを取ることにした。特に夏場は熱中症に気を付け、こまめに水分補給することや休憩を取り、体調管理に留意するよう注意喚起した。

(6) 事業継続計画（BCP）の策定

大規模な災害等が発生した時に備えて公共性の高い事業の継続性を確保するために実施すべき事業の対策、発生時の会員や事務局職員の対応を図るため事業継続計画（BCP）を引き続き検討する。

(7) 新型コロナウイルス対応

新型コロナウイルス感染拡大及び緊急事態宣言発出に対し、品川区シルバー人材センターとして実施した取組みについて報告する。

- ① 就業については、高齢者の就労支援を本務とするセンターの基本的方針としては、会員の感染予防を図った上で就業を継続し、発注者や会員から就業を休止したいと申出があった場合は、双方協議の上休止や代替要員配置を行った。
- ② 安全就業グッズについて感染予防用マスクを配付した。
- ③ センター各拠点については、手指消毒用アルコール液の設置、飛沫感染防止のためのアクリル板及びビニールシートを引き続き設置した。
- ④ 定時総会や会議については、人数を制限しての縮小開催や中止措置を行った。
- ⑤ シルバーしながわ及び毎月発行のセンター通信において、新型コロナウイルスに関する情報提供を行った。

事業7 地域交流活動の充実

★(1) 会員交流コーナーの充実

中止

★(2) シルバーお助け隊の設置拡大

中止

★(3) イベントを活用したPR

中止

(4) 会員サークル活動の充実

- ・シルバー健康クラブが令和元年度に発足。会員のケガ予防・健康増進のため月4回定期的に活動した。
- ・荏原音楽倶楽部は生きがい・社会貢献・仲間づくりを目的に、定期的な発声練習や年2回ボランティア活動をしていたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からやむをえず活動を自粛した。しかし、今後よりよい活動に向けての打合せ会は2回行った。

Ⅲ. 収益事業

国有地・都有地をセンターが道路占用許可や行政財産の使用許可を得て、駐車場として経営した。また、定期的な清掃、不法駐輪・駐車撤去や道路の整理・整頓などを実施して周辺環境の整備に努めた。また、八潮橋高架下駐車場については、占用許可の期限（5年間）を迎えるため、更新手続きの準備を行う。

実績額 966万円

Ⅳ. 法人運営（法人会計）

(1) 運営の簡素化

公益法人の機関運営については、簡素で効率的な法人運営の徹底に取り組んだ。

令和3年度定時総会

開催日時 令和3年6月18日（金） 午後1時30分～

開催場所 品川区東大井5-18-1 きゅりあん（大ホール）

会員数 2,334名

出席会員数 1,652名（内委任状1,613名）

定足数 1,167名（会員数の2分の1）

議案

第1号議案 公益社団法人品川区シルバー人材センター定款の一部改正決議について

第2号議案 公益社団法人品川区シルバー人材センター令和2年度決算報告

第3号議案 理事11名選任の件（理事11名任期満了による選任）

報告事項 公益社団法人品川区シルバー人材センター
令和2年度事業報告

公益社団法人品川区シルバー人材センター

令和3年度事業計画及び収支予算書

退任役員の紹介及び参与の委嘱について

(2) ガバナンス（内部統治）の強化

理事会の活性化及び監査の充実

理事会等を定期的開催し事業の全体状況や会員の現状など運営全般を適宜把握し、課題や問題点について活発な論議を重ねて管理と経営の充実に努めた。また、監査についても適切な経理処理と経営改善につながるよう定期的に実施した。

理事会 年 12回開催

三役会 年 11回開催

監査 年 2回開催

2.会員の状況

(1) 会員の入退会者数

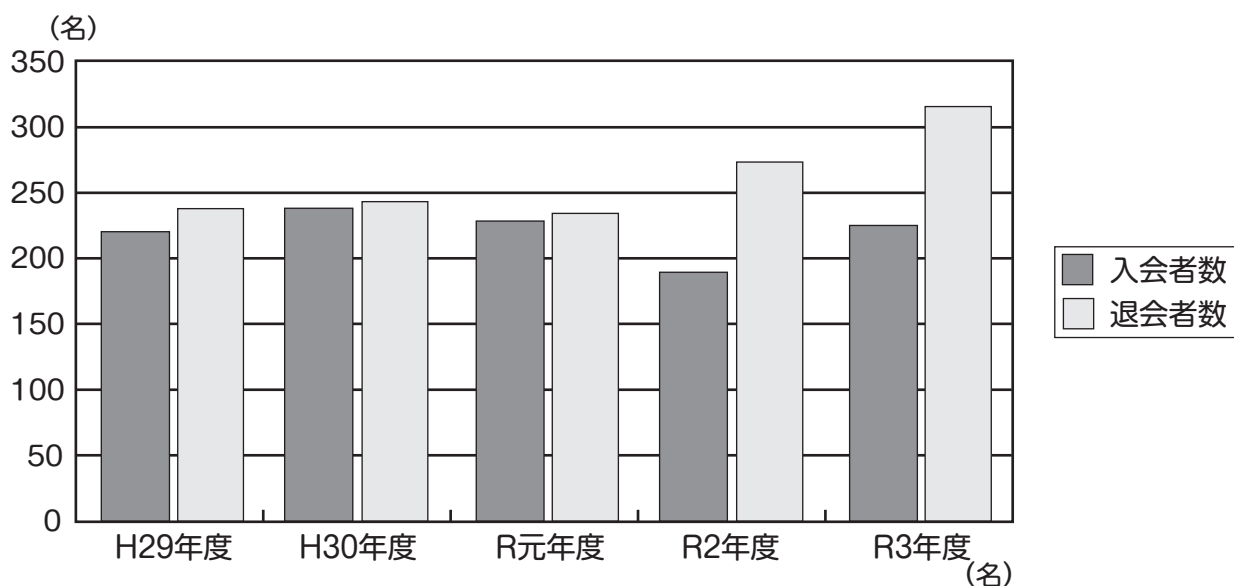
(名)

年月	入会		退会		月末会員数		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
R3.4	30	35	22	24	1,279	1,055	2,334
5	9	6	12	7	1,276	1,054	2,330
6	8	6	8	9	1,276	1,051	2,327
7	13	25	54	63	1,235	1,013	2,248
8	4	4	8	7	1,231	1,010	2,241
9	11	7	24	21	1,218	996	2,214
10	6	11	5	0	1,219	1,007	2,226
11	10	10	3	5	1,226	1,012	2,238
12	4	3	7	2	1,223	1,013	2,236
4.1	7	1	12	10	1,218	1,004	2,222
2	3	6	4	3	1,217	1,007	2,224
3	3	2	1	2	1,219	1,007	2,226
合計	108	116	160	153			

退会理由

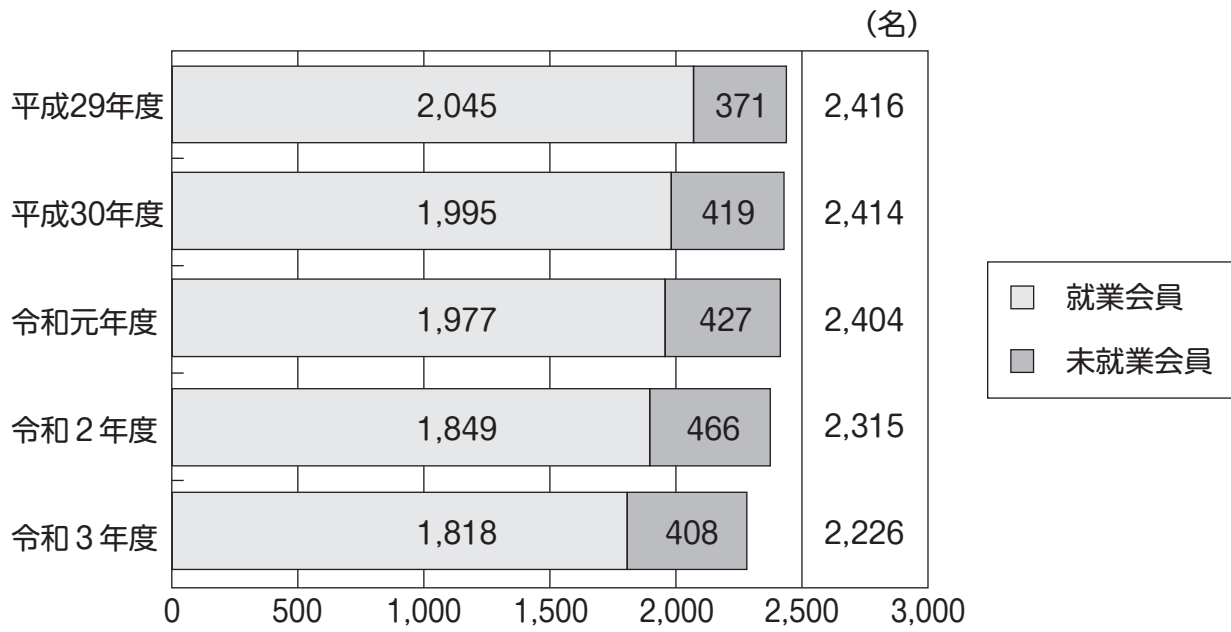
病	気	125名	家庭の事情(介護等)	18名
就	職	30名	会費未納	38名
死	亡	25名	加齢	43名
転	居	19名	他団体等への加入	0名
希望する仕事なし		5名	センター運営に対する不満	0名
就業機会なし		3名	未回答(不明)	1名
			その他	6名
			合計	313名

(2) 会員入退会者数の推移 (過去5年間)



区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
入会者数	219	241	230	188	224
退会者数	241	243	240	277	313

(5) 各年度別就業実人員の推移



(6) 各年度月別就業実人員

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 実人員
平成29年度	1,761	1,746	1,734	1,764	1,721	1,768	1,730	1,714	1,684	1,684	1,688	1,678	2,045
平成30年度	1,688	1,670	1,684	1,693	1,656	1,708	1,674	1,670	1,675	1,662	1,657	1,663	1,995
令和元年度	1,690	1,702	1,694	1,701	1,673	1,704	1,642	1,668	1,655	1,635	1,655	1,582	1,977
令和2年度	1,500	1,305	1,563	1,572	1,559	1,544	1,562	1,558	1,534	1,466	1,511	1,530	1,849
令和3年度	1,561	1,443	1,532	1,577	1,503	1,575	1,576	1,570	1,538	1,533	1,545	1,549	1,818

3. 事業実績

(1) 令和3年度月別事業実績表【請負】

月別	月別 会員数	事業別	受託事業 件数	就業人員		契 約 金 額			
				延実人員	延日人員	配 分 金	材 料 費	事 務 費	計
	人		件	人	日人	円	円	円	円
4月	2,334	公共	52	1,163	8,285	34,815,790	592,389	3,909,398	39,317,577
		民間	1,121	1,789	12,599	49,208,283	946,177	5,350,062	55,504,522
		計	1,173	2,952	20,884	84,024,073	1,538,566	9,259,460	94,822,099
5月	2,330	公共	53	1,081	8,314	29,853,635	410,899	4,778,509	35,043,043
		民間	1,121	1,975	12,756	47,576,098	1,147,576	5,331,187	54,054,861
		計	1,174	3,056	21,070	77,429,733	1,558,475	10,109,696	89,097,904
6月	2,327	公共	51	1,371	9,084	32,398,512	415,701	3,589,969	36,404,182
		民間	1,162	1,752	12,537	50,149,899	919,353	5,394,166	56,463,418
		計	1,213	3,123	21,621	82,548,411	1,335,054	8,984,135	92,867,600
7月	2,248	公共	55	1,272	8,291	34,210,535	562,202	4,145,699	38,918,436
		民間	1,147	1,886	12,651	50,211,898	926,612	5,385,985	56,524,495
		計	1,202	3,158	20,942	84,422,433	1,488,814	9,531,684	95,442,931
8月	2,241	公共	56	1,268	7,570	33,741,275	689,173	3,535,735	37,966,183
		民間	1,094	1,831	12,597	49,921,540	1,475,323	5,368,950	56,765,813
		計	1,150	3,099	20,167	83,662,815	2,164,496	8,904,685	94,731,996
9月	2,214	公共	56	973	7,939	31,337,349	1,082,274	4,281,879	36,701,502
		民間	1,132	2,049	14,060	50,595,707	1,571,946	5,665,730	57,833,383
		計	1,188	3,022	21,999	81,933,056	2,654,220	9,947,609	94,534,885
10月	2,226	公共	54	1,521	10,573	46,095,667	550,399	6,793,645	53,439,711
		民間	1,219	2,031	12,967	51,765,341	1,114,386	5,557,399	58,437,126
		計	1,273	3,552	23,540	97,861,008	1,664,785	12,351,044	111,876,837
11月	2,238	公共	53	1,250	8,965	35,405,062	667,602	4,373,007	40,445,671
		民間	1,199	1,876	12,578	50,325,783	1,076,069	5,525,258	56,927,110
		計	1,252	3,126	21,543	85,730,845	1,743,671	9,898,265	97,372,781
12月	2,236	公共	50	994	7,649	31,039,236	811,713	5,190,406	37,041,355
		民間	1,162	1,854	12,601	49,422,411	1,168,331	5,410,448	56,001,190
		計	1,212	2,848	20,250	80,461,647	1,980,044	10,600,854	93,042,545
1月	2,222	公共	57	1,161	7,918	30,995,893	633,788	4,146,845	35,776,526
		民間	996	1,484	11,176	43,460,548	752,182	4,708,477	48,921,207
		計	1,053	2,645	19,094	74,456,441	1,385,970	8,855,322	84,697,733
2月	2,224	公共	58	1,233	8,175	31,722,219	691,161	4,222,890	36,636,270
		民間	924	1,561	10,758	41,302,111	838,483	4,499,638	46,640,232
		計	982	2,794	18,933	73,024,330	1,529,644	8,722,528	83,276,502
3月	2,226	公共	74	1,482	10,495	35,665,267	9,339	5,795,430	41,470,036
		民間	988	1,811	13,593	50,677,436	352,268	11,167,739	62,197,443
		計	1,062	3,293	24,088	86,342,703	361,607	16,963,169	103,667,479
累 計		公共	669	14,769	103,258	407,280,440	7,116,640	54,763,412	469,160,492
		民間	13,265	21,899	150,873	584,617,055	12,288,706	69,365,039	666,270,800
		計	13,934	36,668	254,131	991,897,495	19,405,346	124,128,451	1,135,431,292

(2) 会員の職群別就業実績【請負】

	公共事業		民間事業		合計		構成比
	延日人員	配分金	延日人員	配分金	延日人員	配分金	
	日人	円	日人	円	日人	円	%
1.技術群	0	0	2,643	8,975,678	2,643	8,975,678	0.9
2.技能群	136	1,501,421	5,083	43,672,681	5,219	45,174,102	4.6
3.事務群	2,414	10,797,583	7,052	17,188,416	9,466	27,985,999	2.8
4.管理群	31,247	191,740,249	15,737	80,304,461	46,984	272,044,710	27.4
5.折衝外交群	422	1,214,400	1,169	3,645,494	1,591	4,859,894	0.5
6.軽作業群	28,816	105,287,262	107,761	404,326,422	136,577	509,613,684	51.4
7.サービス群	40,223	96,739,525	11,428	26,503,903	51,651	123,243,428	12.4
8.その他	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	103,258	407,280,440	150,873	584,617,055	254,131	991,897,495	100.0
構成比(%)	40.6	41.1	59.4	58.9	100.0	100.0	

図-1 職群別配分金比率

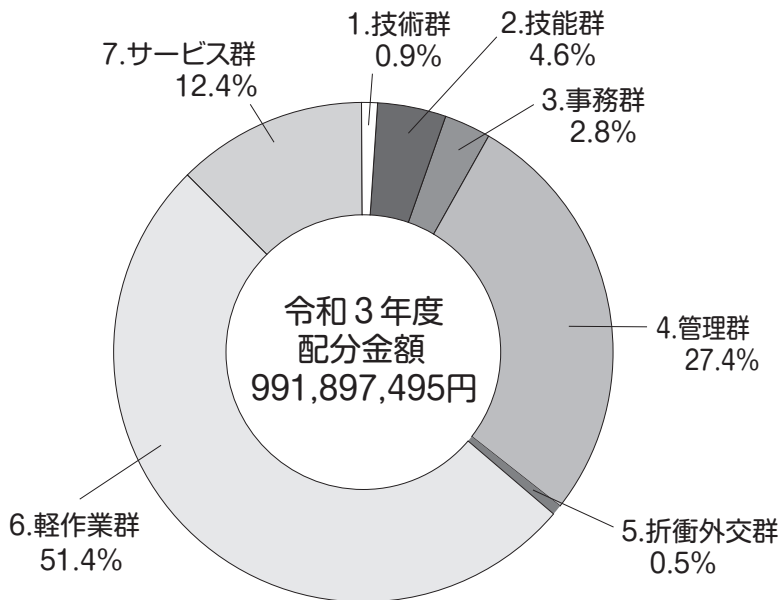
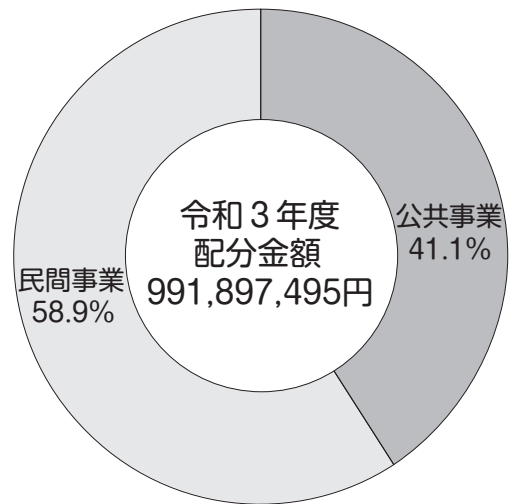


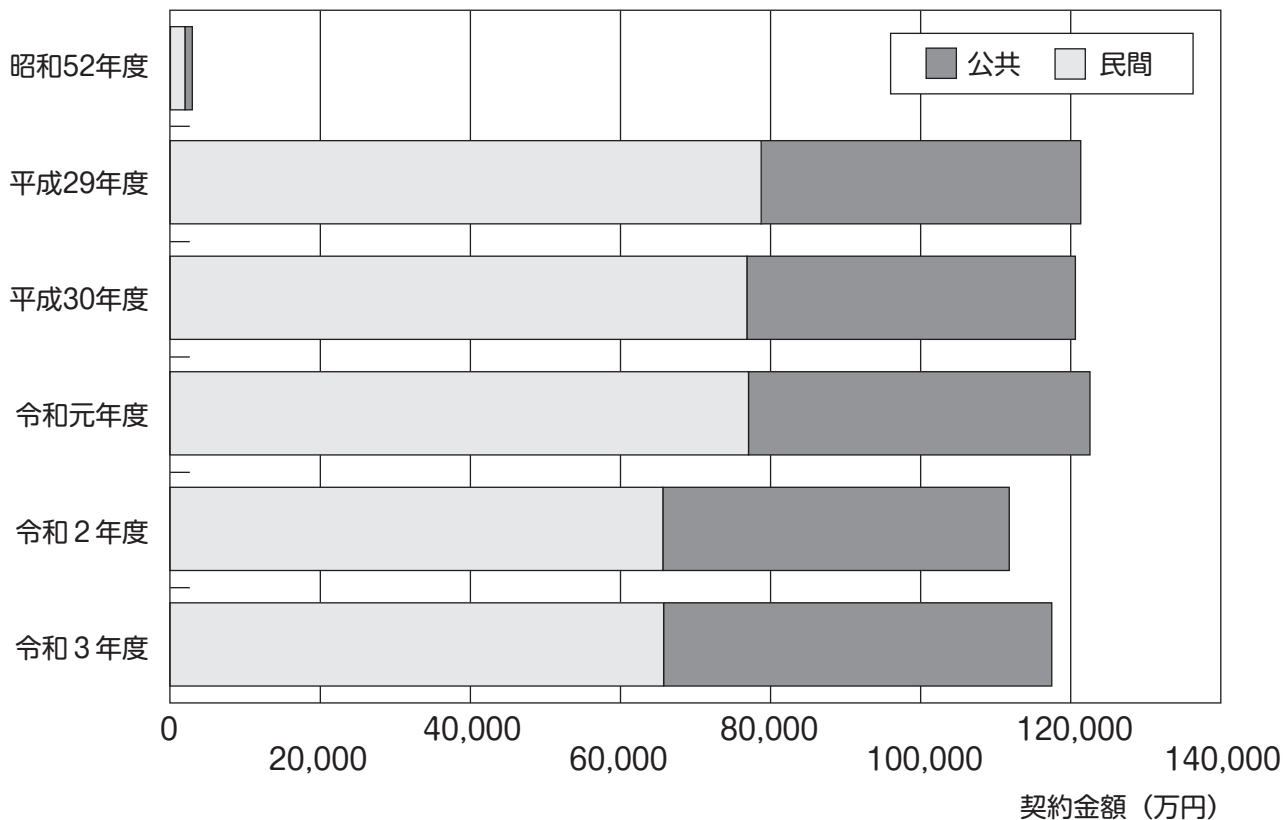
図-2 事業別配分金比率



(3) 各年度別事業実績（過去5年間）【請負】

年度	事業別	委託件数	延日人員	配分金	材料費	事務費	計	公民比
		件	日人	円	円	円	円	
昭和52年度	公共	79	3,235	8,636,296	682,986	502,882	9,822,164	33.6 : 66.4
	民間	704	5,132	15,847,884	2,363,864	1,177,307	19,389,055	
	計	783	8,367	24,484,180	3,046,850	1,680,189	29,211,219	
平成29年度	公共	618	107,080	389,239,749	11,637,367	37,587,265	438,464,381	35.7 : 64.3
	民間	16,403	201,089	713,466,975	13,627,937	61,995,530	789,090,442	
	計	17,021	308,169	1,102,706,724	25,265,304	99,582,795	1,227,554,823	
平成30年度	公共	602	102,657	396,956,455	6,844,721	39,849,155	443,650,331	36.7 : 63.3
	民間	15,414	192,205	687,800,559	12,148,557	63,883,836	763,832,952	
	計	16,016	294,862	1,084,757,014	18,993,278	103,732,991	1,207,483,283	
令和元年度	公共	588	108,954	421,498,143	10,736,799	50,528,094	482,763,036	38.9 : 61.1
	民間	14,923	181,773	675,234,719	13,911,733	67,734,362	756,880,814	
	計	15,511	290,727	1,096,732,862	24,648,532	118,262,456	1,239,643,850	
令和2年度	公共	620	100,028	377,064,737	5,989,788	50,482,690	433,537,215	39.3 : 60.7
	民間	13,350	151,128	590,490,265	10,864,548	67,882,907	669,237,720	
	計	13,970	251,156	967,555,002	16,854,336	118,365,597	1,102,774,935	
令和3年度	公共	669	103,258	407,280,440	7,116,640	54,763,412	469,160,492	41.3 : 58.7
	民間	13,265	150,873	584,617,055	12,288,706	69,365,039	666,270,800	
	計	13,934	254,131	991,897,495	19,405,346	124,128,451	1,135,431,292	

図-3 各年度別事業実績の推移



(4) 令和3年度月別事業実績表【派遣】

月別	受託事業 件数	就業人員		契 約 金 額		
		延実人員	延日人員	賃 金	手数料等	計
	件	人	日人	円	※ 円	円
4月	13	15	182	802,152	242,138	1,044,290
5月	13	15	155	616,454	184,783	801,237
6月	13	15	180	722,465	193,503	915,968
7月	12	14	160	620,318	130,313	750,631
8月	12	14	159	637,726	168,693	806,419
9月	13	15	172	715,363	225,966	941,329
10月	13	14	161	685,052	212,096	897,148
11月	15	16	173	757,840	235,047	992,887
12月	16	16	196	890,560	262,839	1,153,399
1月	15	16	173	713,608	180,933	894,541
2月	15	15	177	744,153	193,472	937,625
3月	15	15	199	857,528	265,285	1,122,813
計	165	180	2,087	8,763,219	2,495,068	11,258,287